

卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）の学習成果と学位論文等審査基準の対応マップ

		卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）の学習成果								
		1	2	3	4	5	6	7	8	9
学位論文審査基準	1	◎	◎					○		
	2	○	○	◎	○	○	○			
	3	○	○	○	◎	○	○			
	4					◎	◎	○	○	○
	5							◎	◎	◎
	6									

国際社会科学研究科博士前期課程の特定課題研究を評価するためのルーブリック

	模範的	優秀	合格圏	学習過程
研究課題の明確性及び先行研究を踏まえての的確性	課題が非常に明確に示されている。	課題が明確に示されている。	課題の明確性に若干の曖昧さがあるが、基本的に適切。	課題が不明確で、適切に示されていない。
課題を追求する上で方法論の適切性	方法論が非常に明確で、課題解決へ直結している。	方法論が適切で、課題解決に寄与している。	方法論にいくつかの問題点はあるが、基本的に適切。	方法論が不適切で、課題解決につながっていない。
研究方法及び調査方法の妥当性	研究・調査方法が非常に妥当で、信頼性と有効性が高い。	研究・調査方法が妥当で、一定の信頼性と有効性がある。	研究・調査方法に改善点はあるが、基本的に妥当。	研究・調査方法が妥当ではなく、信頼性と有効性に欠ける。
結論の妥当性	研究の成果が非常に妥当で、論理的に導かれている。	研究の成果が妥当で、一貫した論理展開が見られる。	研究の成果にいくつかの問題点はあるが、基本的に妥当。	研究の成果が妥当ではなく、論理的な整合性が欠ける。
研究の独創性と研究分野への貢献	研究の新規性が十分に確保されている。	研究の新規性が一定程度確保されている。	研究の新規性にいくつかの問題点はあるが、基本的に適切。	研究の新規性に欠け、目新しい発想は見られない。
その他				